

-目次-

1. Windows Vista(R) および Windows(R) 7 使用時の注意事項
2. インストール時の注意事項
3. アンインストール時の注意事項
4. 名刺データベースについて
5. サポート解像度について
6. 実行時の注意事項
7. 前バージョンからの変更点

■ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

1. Windows Vista(R) および Windows(R) 7 使用時の注意事項

- * 名刺ファイリングOCR は環境依存文字 (unicode) には対応していません。名刺ファイリングOCR のインストール先、名刺ファイリングOCRを使用するときのユーザー名、名刺ファイリングOCR で扱うフォルダ名、ファイル名、その他の文字列に、環境依存文字 (unicode) を使用しないでください。
- * 名刺ファイリングOCR の名刺データベースの拡張子 (.crd) が Microsoft社から提供される Windows CardSpace アプリケーションが使用するファイルの拡張子と同じとなります。このため、名刺ファイリングOCR で作成した名刺データベースのファイルのアイコンが、Windows CardSpace アプリケーションのアイコンで表示されます。名刺ファイリングOCR で作成した名刺データベースファイルは、名刺ファイリングOCRで問題なくご使用いただけますが、名刺データベースの作成時には、Windows CardSpaceアプリケーションが使用するファイルと区別できる名前（保存するフォルダ名やデータベースファイル名）を付けてご使用ください。

2. インストール時の注意事項

- * 動作環境については、使用している ScanSnap のオペレーターガイドの「動作環境」を参照してください。
- * オペレーティングシステムには、Microsoft(R) Internet Explorer 6.0以上がインストールされている必要があります。なお、Windows(R) 2000 で名刺ファイリングOCRのヘルプをご覧になる場合は、Microsoft(R) Internet Explorer 6.0 SP1以上をインストールしてください。
- * Windowsのマルチユーザー切り替えおよび、リモートデスクトップ機能には対応していません。
- * ルートディレクトリに直接インストールはしないでください。正常に動作しない場合があります。適当なディレクトリにインストールしてください。
- * インストール先のディレクトリは 104 文字を超えないでください。正常に動作しない場合があります。104 文字以内のディレクトリにインストールしてください。
- * 旧バージョンの製品が 104 文字を超えるディレクトリにインストールされている場合、旧バージョンの製品をアンインストールしてから本製品のインストールを実行してください。（旧バージョンで使用していた「名刺データベース」は、そのまま引き継がれます。）
注) アップグレードを行う場合は、旧バージョンの製品がインストールされている必要があります。旧バージョンの製品を 104 文字以内のディレクトリにインストールしてから本製品のインストールを実行してください。
- * 管理者権限 (Administrators 権限) のあるユーザー名でログオンしてからインストールしてください。
- * インストール先のディレクトリ名に下記に示す文字を使用しないでください。使用するとプログラムが正常に動作しない場合があります。
/ ; , . * ? " < > | # %
- * Windows Vista(R) もしくは Windows(R) 7 でインストールする場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、「続行」ボタンを選択してください。

- * インストール先のフォルダには、ローカルディスクのフォルダを指定してください。
- * 「ユーザーズガイド」をご覧いただくには、「Adobe (R) Acrobat (R) Reader」または、「Adobe (R) Acrobat (R)」が必要です。
- * 以下の機能を使用する場合は、先に .NET Framework 3.5 (SP1以降) をインストールしてください。
 - ・Salesforce連携

3. アンインストール時の注意事項

- * 管理者権限 (Administrators 権限) のあるユーザー名でログオンしてからアンインストールしてください。
- * アンインストールは、名刺ファイリングOCR を終了させてから実行してください。
- * アンインストール時に「共有ファイルを削除しますか?」のメッセージで共有ファイルを削除すると、他のプログラムがまだこのファイルを使用している場合、プログラムが動かなくなる恐れがあります。
- * アンインストールしてシステム再起動後、一度管理者権限 (Administrators 権限) のあるユーザー名でログオンすると、アンインストールが完了します。
- * Windows Vista(R) もしくは Windows(R) 7 でアンインストールする場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。管理者権限 (Administrators 権限) のあるユーザーの場合は「続行」ボタンを、管理者権限 (Administrators 権限) のないユーザーの場合は、管理者権限 (Administrators 権限) のあるユーザーを選択し、パスワードを入力してから「OK」ボタンを選択してください。
- * 名刺ファイリングOCR をアンインストールしても名刺データベースは削除されません。

4. 名刺データベースについて

- * 旧バージョン(V1.0、V1.1、V1.2、V2.0、V2.1、V2.2、V3.0)の名刺ファイリングOCRで作成した名刺データベースは、本バージョン(V3.1)でそのまま使用することができます。
以下のバージョンで作成した名刺データベースを使用するときは旧バージョンの名刺データベースは自動的にバックアップされます (拡張子 *.old)。
V1.0、V1.1、V1.2、V2.0、V2.1、V2.2
- * 本バージョン(V3.1)の名刺ファイリングOCRで作成したデータベースは以下のバージョンでは使用できません。
V1.0、V1.1、V1.2、V2.0、V2.1、V2.2
- * 名刺ファイリングOCRの名刺データベースを共有して使用する場合、最大5台までの動作を保証いたします。
- * 名刺ファイリングOCRの名刺データベースを正常に使用するために、名刺データベースのファイルパス長が半角220文字を超えないように、名刺データベースを作成 (「データベースの新規作成」、「データベースのバックアップ」) してください。また、半角220文字を超えないファイルパスの名刺データベースを使用 (「データベースを開く/復元」、「既存データベースへの追加」) してください。

5. サポート解像度について

- * 認識におけるサポート解像度は

カラー	150dpi以上、推奨解像度は300dpi
2値 (白黒、モノクロ)	300dpi以上、推奨解像度は400dpi

 です。

6. 実行時の注意事項

- * 256色のディスプレイドライバを使用すると、24ビットフルカラーイメージが黒ずんで表示される場合があります。
- * データ編集ウィンドウの住所、メモ等の項目に改行コードを入力できますが、エクスポート連携実行、及び印刷では改行コードは出力されません。
- * データ編集ウィンドウで、住所を郵便番号に変換する場合、都道府県名および市郡区名が省略されていると変換できません。
- * データ編集ウィンドウでの郵便番号住所変換では、平成23年11月版の郵便番号および住所を使用しているため、これ以降に新設された町名等が表示されないことがあります。

- * タスクバーが[自動的に隠す]モードになっている場合、タスクバーが表示されない場合があります。この場合、<Ctrl>キーと<Esc>キーを同時に押すことにより、[スタート]メニューとタスクバーが表示されます。
- * 管理者権限 (Administrators 権限) のあるユーザー名以外でログオンすると他のアプリケーションと正常に連携できない場合があります。
- * EPSON TWAIN 3 ドライバで動作するスキャナで、スキャナ装置が接続されていないか、もしくはスキャナ装置の電源が入っていない状態で読み取りを実行すると、アプリケーションが異常終了する場合があります。
- * Windows (R) XP、Windows Vista (R)、Windows (R) 7 において、スキャナ読み取り中(ドライバ画面表示中を含む)にユーザーの切り替えを行い、切り替えたユーザーでスキャナ読み取りを行うことはできません。他のユーザーでのスキャナ読み取りが完了してから、再度実行してください。
- * Windows (R) 2000 および Windows (R) XP Professional では、標準ユーザー (Power Usersグループ) 以上の権限を持つユーザーでログオンしてご使用ください。Windows (R) XP Home Edition では、ユーザーアカウントをコンピュータの管理者に設定してからご使用ください。Windows Vista (R) および Windows (R) 7 では、標準ユーザー以上の権限を持つユーザーでログオンしてご使用ください。
- * 送信先の設定ダイアログの「TO(宛先)」、「CC」、「BCC」に、複数のメールアドレスを指定した場合、メールソフトによっては、指定したすべてのメールアドレスが登録されないことがあります。
- * グレー色として読み込んだ画像を名刺ファイリングOCRの「イメージ情報」でプロパティを確認すると、24bit フルカラーと表示されます。
- * 半角218文字より長いファイル名およびパス名を設定しExcelのファイルを出力すると、ファイルを開けない可能性があります。半角218文字以内に設定することを推奨します。
- * ディスプレイ解像度は、800 × 600 ピクセル以上に設定してお使いください。
- * フォント サイズが大きい場合、一部の画面が正常に表示されないことがあります。この場合は、フォント サイズを小さくして使用してください。
- * ディスプレイは、ハイカラー以上の設定でお使いください。256 色以下では表示が乱れる場合があります。

7. 前バージョンからの変更点

V3.0L1x からの変更点

V3.0L10 → V3.0L11 の変更点

- * 認識結果確認ウィンドウを表示するタイミングを改善しました。

V3.0L11 → V3.1L11 の変更点

- * Outlook連携(シンクロナイズ)の不具合を修正しました。
- * データ連携対象項目に、「携帯電話」を追加しました。
- * ボタンを追加する、などして操作性を改善しました。
- * YAHOO!会社名検索のURL変更に対応しました。
- * 起動時にウィンドウレイアウトの選択画面が表示されるように対応しました。

V3.1L1x からの変更点

V3.1L10 → V3.1L11 の変更点

- * YAHOO!会社名検索のURL変更に対応しました。

V3.1L11 → V3.1L30 の変更点

- * 片面名刺から両面名刺を作成する機能を追加しました。
- * Salesforce連携機能を追加しました。※Windows (R) XP 以降のOSに対応
- * 表面/裏面などのアイコンを変更し、操作性を改善しました。
- * Outlook連携(シンクロナイズ)について、同姓同名のデータが複数存在する場合、「同姓同名データに対する処置」画面で追加選択時にすべての名刺が追加される不具合を修正しました。
- * vCard形式またはInterConnect電子名刺形式でエクスポートした場合、ファイルが出力されない場合がある不具合を修正しました。
- * vCard形式でインポートした場合の不具合を修正しました。
- * 未認識データの一括認識を行った場合、認識が実行されない場合がある不具合を修正しました。
- * ポップアップメニューから認識実行を選択し、確定状態の名刺一枚を認識した場合、未確定状態に変更して認識できるように修正しました。また、矩形選択時に名刺全体が認識される不具合を修正しました。
- * Outlook連携(シンクロナイズ)時、Outlookへのアクセス許可を拒否すると、名刺を読み込めなくなる不具合を修正しました。

V3. 1L20 からの変更点

V3. 1L20 → V3. 1L30 の変更点

- * Salesforce連携機能を追加しました。

V3. 1L30 からの変更点

V3. 1L30 → V3. 1L40 の変更点

- * データ一覧ウィンドウにおいて、リストの見出し項目の順序をドラッグ&ドロップで変更できるようにしました。
- * Salesforce連携項目のデフォルト設定を変更しました。

V3. 1L40 からの変更点

V3. 1L40 → V3. 1L41 の変更点

- * YAHOO!連携（お天気情報）のURL変更に対応しました。

V3. 1L41 からの変更点

V3. 1L41 → V3. 1L50 の変更点

- * スキャナの選択時、「ソースの選択」画面にWIAドライバが表示される不具合を修正しました。
- * ユーザー学習辞書を使用していた場合、ユーザー学習辞書を新しい形式に変換するように対応しました。

V3. 1L50 からの変更点

V3. 1L50 → V3. 1L51 の変更点

- * Salesforce連携時、リード、取引先、または、取引先責任者の設定が無効化されていた場合でも、「登録先選択画面」が表示されるように改善しました。
- * データ編集ウィンドウにおける、データ件数の表示を、4桁から5桁に拡張しました。
- * インポート機能で、住所2に、都道府県以外が取り込まれない不具合を修正しました。

V3. 1L51 からの変更点

V3. 1L51 → V3. 1L52 の変更点

- * YAHOO!連携（お天気情報）のURL変更に対応しました。
- * YAHOO!連携（ファイナンス）のURL変更に対応しました。
- * 会社フリガナの自動変換が不適当な場合がある不具合を修正しました。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Excelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Adobe、Acrobat、Adobe Reader はAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の登録商標です。

Multilingual OCR by I. R. I. S. (Image Recognition Integrated Systems)
1997 Copyright by I. R. I. S., All rights reserved

The Proximity / Merriam Webster Linguibase
Copyright 1984 All rights reserved
Proximity Technology Inc.
Copyright 1984 All rights reserved
Merriam Webster Inc.

The Proximity / Merriam Webster Linguibase
Copyright 1984 All rights reserved
Proximity Technology Inc.
Copyright 1984 All rights reserved
Williams Collins Sons & Co. Ltd.

Salesforce、Salesforce ロゴ、Salesforce CRMは米国その他の国における米セールスフォース・ドットコム (salesforce.com, inc.) の登録商標または商標です。

その他の社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

また、本製品およびユーザーズガイド、ヘルプの説明で使用しているサンプル名刺の氏名、会社名、住所、電話番号等は全て架空のものです。